

串良町4Hクラブと市長との「本気」で語ろう会 会議録

団体名	串良町4Hクラブ
日時	令和元年9月3日(火) 18時00分から19時50分まで
場所	串良公民館 2階 大会議室
参加者	串良町4Hクラブ(前田高志会長外7名)
	市長、串良総合支所長、串良総合支所産業建設課 大隅地域振興局 農政普及課、政策推進課
<p>【串良町4Hクラブの意見等】</p> <p>○経営状況及び課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛の価格が高値で推移しているが、いつまで続くか分からないため不安である。 ・母牛の更新時期や、削蹄師を含めた人の確保が課題である。 ・酪農はヘルパー制度があるが、肉用牛には制度がない。休暇がとれない。 ・農業は、自分で計画して自分のペースで作業が出来るが、どうしても収穫量や売上にばらつきが出てしまう。良い時もあれば、悪い時もある。ただ、安定した収入を得ることが大事なので、そこを実現することが課題である。 ・工夫して作ったものが、成果につながると喜びや、やりがいを感じる。 ・今からの時期は、台風が心配。台風の影響で、冬作の作付け、稲、飼料作物(トウモロコシ等)が倒れるなどの影響が出るのが考えられる。 ・農業従事者の高齢化により、労働力が機械でまかなう事を本格的に検討していく必要がある。 ・農畜産物の販売に関して、特に新規作物の販路開拓が課題である。 ・農家はどうしても弱い立場にある。色々な方と関係を持ち、情報や協力を得て、やっていかなければならない。 ・農業機械が大型化しているため従来どおりのやり方では支障がある。国も圃場整備について、大区画化する計画はあるが、上手くまとまらないのが現状である。 ・農道の整備を進めて欲しい。機械の大型化に道路整備が追いついていない。 ・小規模・中規模農家が多く、機械を導入したいが、作付面積の影響で制限される。 ・鳥獣被害が深刻である。 ・マルチの処分費が上がり、課題になっている。 ・甘しょについては、病気がはやると、収量が減り、消毒の費用がかかるため、経営に大きな影響がある。 	

【市長】

- ・経営は、規模拡大だけでなく、安定した経営が重要である。適正規模で、販売額よりも、いかに利益を出すかが重要である。
- ・串良町4Hクラブには、「お助け隊」や「イベント参加」などで頑張ってもらっている。他の人を巻き込みながら続けてもらいたい。
- ・個人で出来ない課題等を解決するためには、もっと皆で協議できることはないか、検討していかなければならない。
- ・農家の所得及び、利益を上げるといった部分をみんなで考えていきたい。
- ・串良町4Hクラブについては、農業女子ではないが、農業好きな女子部会的なものを考えてもいいのではないかと思う。収穫時期に体験をしてもらうとか、非日常的なことをするのもおもしろい。かのやアグリ起業ファーム推進室に、企画等を相談して欲しい。
- ・鹿屋ではあまり施設化が進んでいない。加温が必要であるため、重油代が負担になる。無加温で出来るものがあれば望ましいと思う。
- ・有機野菜については、卸価格が高いので魅力的だが、手間がかかるのであまり広がっていない。今後、取り組み方を検討する必要がある。
- ・鹿屋の畑は、甘しょと飼料で大半の面積を締めている。鹿屋の芋の美味しさは、芋を扱う企業からも良く聞くため、今後、でんぷんと焼酎用以外に、付加価値を高めていく取組が大事である。
- ・地元の農家を作る良いものを地元の人が食するまち、食文化を創る必要があると思う。もったいない。
- ・鳥獣被害については、市から箱ワナの貸出、資格取得の免許の補助もあるので、活用してほしい。獣道等の情報提供があれば、一緒に取り組むこともできる。
- ・マルチの処分費が高くなってきていることには、問題意識を持っている。
- ・JAの直売所が来年4月に完成する。出荷希望者も募っているようなので、4Hクラブの方にも、この機会を利用してほしい。
- ・通年での野菜の出荷を考えると、端境期の問題があるが、冷蔵等の貯蔵庫があれば価格調整も上手く行くのではないかと考える。流通については、組合的なもので一緒に取り組み、構築していければ良いと思う。
- ・畜産の排泄物については、臭気対策を含め、しっかりと自分達の仕事だということを感じて、適正に処理してほしい。
- ・農業には、いろんな補助制度もあるので、是非、相談、活用していただきたい。